

2021
11
月号

県民の森 だより



発行 宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料 : 無料
利用時間 : 4月~10月 / 9時~16時30分
11月~3月 / 9時~16時

HPはこちら!

今年もいつの間にか山々の紅葉も麓まで進み、園内でもようやく深緑色から黄色や赤色に色づき見頃を迎えております。

紅葉の進み方も場所によって微妙に違い、日々違った表情がとても楽しい季節になりました。中でも青少年の森内の「1号展示館・2号展示館」の周辺は隠れスポットでお勧めです。
(所長:蜂谷仁)

『虹のこども園作品展』

11月11日~25日まで、虹のこども園の作品展を開催いたします、園児のみなさんのかわいらしい作品がたくさん!ご来館をお待ちしております!



閉園時間変更のお知らせ

例年同様に、11月1日~3月31日まで、閉園時間が30分繰り上がります。駐車場利用も16時まで、クラフトコーナーの受付も15時30分までとなります。

お間違えのないようよろしくお願ひいたします。



イノシシが増えています。園内で土を掘った跡(右写真⇒)を目撲されている方も多いと思います。イノシシがミミズ等を食べた跡です。今年はヤマユリの根もほとんど食べられてしまいました。幸い人に向かってきた事例はありませんが、遭遇された場合はイノシシを刺激せずに静かにその場を離れて下さい。

県民の森は11月になると紅葉がはじまります。

中央記念館から管理車道を少し下ったところにあるモミジ山や記念館裏の遊歩道、四季の森の水辺の道、ツツジの道など沢山の紅葉スポットがあります。

美しい紅葉になる条件は温度、光、湿度の3つと言われ、最低気温が8度以下になると紅葉がはじまり、5~6度になると一気に紅葉が進みます。日に晴れて気温が上がり夜に急に冷えるとよく色づくと言われています。

県民の森では赤系がイロハモミジ、オオモミジ。ケヤキ、ヤマザクラ、ツタ類などで、黄系はクヌギ、コナラ、エノキなどがあります。

紅葉の中をゆっくり散歩してみてはいかがでしょうか?

(絵と文:千葉)

スケッチ県民の森

モミジ山の紅葉



◆青少年の森コーナー◆森の学び舎大解剖編 vol.1◆

「青少年の森」のゲートを超えるとドーンとそびえる「森の学び舎」。その建物の全貌に迫る新企画！



第1回目は入口の「チェーンソーアート」を紹介します。ネズミ、ウシ、ウマ等の干支にちなんだコチラの作品は全て、事務局職員の趣味で制作された物で4年後に十二支が揃う予定です。もう少しでトラも仲間入りです。

作品によっては小さいお子様なら乗ることもできるので、来館された際には絶好の記念撮影ポイントとしても活用してみてください！

アカゲラ（キツツキ科） 赤啄木鳥

太鼓のような「ドロロロロ～♪」のドラミング、キョッキョッと可愛い声の主はアカゲラです。

これぞキツツキのイメージ。背中は黒く肩羽に大きな白斑と翼の下面には小さな白斑が並びます。胸からお腹は白く下腹から尾の付け根が赤いのが特徴、オスは後頭部にちょっぴり赤のアクセント。

ムクドリと同じ位の約24cm。強い両脚としっかりした尾羽で垂直に捕まり、木の幹に巣食う昆虫やクモ、木の実などを食べます。これから季節、もみじの道や野鳥の道などでドラミングが聞こえたら嬉しいですね。

（写真：秀・文：もち）



今月の

スタッフが見つけたしぜんのひとコマ けんみんのもり写真館



キッコウハグマ（キク科） 亀甲白熊

名前は葉の形が亀の甲羅に、花びらが白熊（はぐま；ヤクの尾を作った飾り。兜や払子に使われた）に似ていることによります。

10月末頃園内の遊歩道脇に、10～30cm位の茎に星を散りばめたような白い花を咲かせます。とても小さな花ですが、思わず目を惹かれる愛らしい花です。

花期 9～10月 （駒野）

園内を歩いていると、いろいろな動物のお食事シーンや食事の跡の風景を見ることがあります。先日は、2号館裏手にアオバトの羽が散乱しておりました。。。『やられちゃったな』

アオバトの羽でした。

アオバトの飛ぶ森

アオバト・・・通るんだ！普段は山に住み、時々、ミネラルの補給に海水を飲みに行くということがわかっています。まだ、詳しい生態はよくわかっていない。『オーオーオーウー』と物悲しい声で鳴くという・・・『ドアホー』とも聞こえるようですが、あなたはどう聞こえますか？

緑色のとてもきれいな鳥です。県民の森の上を飛んでいくと思ったら、ちょっと嬉しくなりました。

イヌエンジュ（マメ科）犬槐

中央記念館南側周囲に植栽されているケヤキの中に3本だけイヌエンジュが紛れ込んでいます。

昭和44年の開園当日から50年間、多くの来園者を見守ってきたであろうが、何のコンセプトで植えられたのか今では謎です。

若葉や若枝は白く光沢のある軟毛を密生させ、特に芽吹きの時は銀色に光って美しいものです。又、菱形に裂ける皮目と指でめくったような樹皮が現れるのが特徴です。

（森谷）

